

TTC スペクトル管理 SWG 寄書

---

日付：2004年 5月14日  
提出元：株式会社アッカ・ネットワークス  
題名： 上り拡張システムに関する記述について

---

#### まえがき

本寄書は前回会合で変更することになったスペクトル適合性報告書の上り拡張システムに関する記述に対する弊社の修正提案である。

#### 第10回スペクトル管理SWG議事録での記述

「第2版制定後にスペクトル適合性が確認されたシステム（2004年4月15日現在でNTT東西の接続約款で認可されているものを除く）に関して、第3版に向けた新たな利用制限を設けるか否かについてTTC DSL 専門委員会スペクトル管理SWGで協議中である。」

#### 問題点

本来、議論の争点は上り拡張方式による他回線への影響であり、現記述（2004年4月14日版）では上り拡張システム（A.33、A.34、A.38）のみが対象であったが、変更後の記述では総てのシステムを対象にスペクトル適合性の確認を凍結することになり、今後新システムによるサービスの提供に支障を来す。

#### 修正案

「138kHz以上の周波数帯域を上り信号の伝送に利用するFDM-ADSL伝送システムの拡張方式（第2版制定後にスペクトル適合性が確認されたシステムを含む）に関しては、新たな利用制限を設けるか否かについてTTC DSL 専門委員会スペクトル管理SWGでJJ100.01の第2版改定に向け協議中である。」と修正する。

また、スペクトル適合性の確認システム一覧表の注記欄に「協議中」と記し、対象となるシステムを明示する。

以上